

1月20日からの大雪への対応について（第3報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況（1/24 06:00 時点）

- 日本付近は冬型の気圧配置に移行している。26日(木)かけて、日本の上空にこの冬一番の強い寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置となる。
- 日本海側では雪が降り始めている。今後は次第に強まり、西日本は25日(水)まで、北・東日本は26日かけて日本海側を中心に大雪となる。普段雪の少ない太平洋側でも山地を中心に大雪となり、平地でも積雪や大雪となるところがある。特に、24日(火)午後から25日(水)は東・西日本の日本海側を中心に降雪が強まり、積雪が短時間に急激に増えるところがある。また、全国的に気温がかなり低くなり、10年に一度程度の低温となる。
- 日本海側の海上を中心に強い風が吹いている。今後はさらに強まり、26日にかけて、海上を中心に全国的に非常に強い風が吹き、海は大しけとなる。
- 大雪や暴風雪、吹きだまりによる交通障害、高波に警戒。低温による水道凍結や路面凍結、なだれ、電線への着雪、落雷、竜巻などの激しい突風に注意。

2 国土交通省の対応

- 警戒体制：本省、気象庁
- 注意体制：国土地理院、北陸地整、中国地整、九州地整、北海道運輸、中部運輸、中国運輸
- 大雪に対する国土交通省緊急発表（1/23）
- 北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州では、各地域において道路利用者等への呼びかけを実施
- 国土交通省災害対策連絡調整会議（1/20、1/23）
- TEC-FORCE等の派遣【28人派遣】（1/24）
 - ・ JETT：2県に4人を派遣（富山県庁2、石川県庁2）
 - ・ 現地支援等：24人を派遣（北陸地整管内で事前配備）

3 国土交通省関連情報

- 道路の通行止め等（1/24 6:30 時点）
 - 高速道路：大雪による通行止めなし
 - 有料道路：大雪による通行止めなし
 - 直轄国道：大雪による通行止めなし
 - 補助国道：大雪による通行止めなし
 - 都道府県道：大雪による通行止めなし
- 鉄道の運行状況（1/24 06:30 時点）
 - 運転を見合わせている路線：なし
 - 今後、運転を見合わせる予定の路線：6事業者23路線

■航空関係の状況(1/24 06:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

20日 欠航便 79 便 (JAL46 便、ANA15 便、その他 18 便)

21日 欠航便 35 便 (JAL21 便、ANA14 便)

22日 欠航便 9 便 (JAL4 便、ANA5 便)

23日 欠航便 29 便 (JAL21 便、ANA4 便、その他 4 便)

24日 欠航便 125 便 (JAL62 便、ANA43 便、その他 20 便)

■自動車関係の状況 (1/24 6:00 時点)

○バス等の運休状況

- ・高速バス : 32 事業者 62 路線 運休
8 事業者 9 路線 一部運休
- ・路線バス : 3 事業者 4 路線 運休
2 事業者 9 路線 一部運休
- ・宅配事業者 : 大手 2 社において一部地域で集配遅延

■海事関係の状況 (1/24 5:30 時点)

○19 事業者 19 航路において運休または一部運休中

■海上保安庁の対応 (1/24 5:30 時点)

○航行警報等の発出状況

- ・海の安全情報 15 件 (注意喚起 15 件)

○港湾における避難勧告等の発出状況

- ・第一体制 (警戒勧告) 26 港
- ・第二体制 (避難勧告) 12 港

○臨海部の施設周辺海域での錨泊制限等の状況 1 件

- ・秋田国家石油備蓄基地 (1 月 23 日午前 9 時 00 分発出)
- ・酒田共同火力 (1 月 23 日午後 3 時 30 分発出)

■河川、海岸、砂防、下水、都市、物流、観光、港湾関係の状況
被害情報なし

問合先 : 水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林 代 表 : 03-5253-8111 内線 35-822 直 通 : 03-5253-8461
--